

■赤崎伝三郎 夜逃げの末、マダガスカルに至り、寄港したバルチック艦隊を日本に通報、故郷の英雄になるも、現地で商売。

あかざきでんざぶろう

廃藩置県・・・1871＝ 天草郡高浜村皿山で、代々大庄屋役をつとめて家に生まれる。

明治6年政変 1873＝ 2歳：

・・・1880＝ 9歳：

明治14年政変 1881＝ 10歳：

病気で引退した父が地元で採れる良質の天草陶土を用いて(赤崎窯)開き、

帝国憲法発布 1889＝ 18歳：

赤崎家を継いで、この窯を守り続けるも、国内販売では輸送経費がかかり過ぎて採算ベースに乗らず、

日清戦争始 1894＝ 23歳：

日清戦争後の不景気についに倒産、膨大な借金を抱え、

子規句歌革新 1898＝ 27歳：

ビアノ国産化 1900＝ 29歳：*出稼ぎを決意して、長崎に渡り、転々とした後、外国人居留地内の長崎ホテルの見習いコックになり、フランス語を習得し、料理の腕を磨くもの、

教科書疑獄 1902＝ 31歳：_とても借金返済できるような額でなく、外国で一旗あげるしかない、妻に話したところ、妻は実家から猛反対されてやむなく離縁、単身、中国大陸に渡り、上海、香港でコック修業しながら、仏印のサイゴンに辿り着いたところで、高熱を出して倒れる。手厚く看病してくれた天草出身のカラユキさんチカ子を生涯の伴侶に、シンガポールからボンベイに渡り、同郷出身者に借金し、

日露戦争始 1904＝ 33歳：*日本人がおらずフランス語の通じる土地を目指し、マダガスカル島北部の港町ディエゴ・スアレズに辿り着き、フランス兵営前のバラックを借りてバーを開くと、大当たり。そこに、日露海戦に望むロシアのバルチック艦隊が入港、その規模に驚き、ロシアの同盟国フランスに知られればスパイ行為の恐怖のなか、慎重に艦名記さず、ローマ字綴りの日本語でボンベイに打電。総領事館からの転送で日本海軍も受電、

日露戦争終 1905＝ 34歳：*バルチック艦隊は長期に寄港し、ロシア兵相手に大儲けもする。日本の勝利で終結後、海軍から感謝状と報奨金が贈られ、その行為が喧伝されて、一気に故郷の英雄となる。

韓国反日暴動 1907＝ 36歳：

_日本での借金を完済した上、多額の貯蓄まででき、

明治天皇没 1912＝ 41歳：_日本政府がマダガスカルに初めて派遣した役人として、フランス・リヨン駐在領事木島孝蔵が来島、赤崎のことについても、フランス兵営前に飲食店を営んでいて評判も良いと、本国へ報告、

_その後、{ホテル・ドウ・ジャボン}を開業すると繁昌、

民本主義・・・1916＝ 45歳：

_3年ほどで、土地建物全てを自分名義にしたほか、貸家も保有すると、イタリア人経営の映画館を買収して{シネマ・ドウ・ジャボン}とし、

原敬首相暗殺 1921＝ 50歳：

_これまた繁昌して借金を完済、日本雑貨の輸入販売にも乗り出し、マダガスカルで知らぬ者がいないほど成功者として鳴り響くが、

治安維持法 1925＝ 54歳：

金融恐慌・・・1927＝ 56歳：_外務省が初めてアフリカに派遣した大型調査団がディエゴ・スアレズに立ち寄った際、大歓迎会を開催して団員に感銘を与えるも、自らは望郷の念にかられるようになり、

世界恐慌・・・1929＝ 58歳：*全ての財産を処分して帰国、新聞雑誌に書き立てられ、故郷天草に錦を飾る。

満州事変・・・1931＝ 60歳：

持ち帰った財産をもとに、高浜に豪邸を建設し、ホテルを経営、地元の学校の建替え費用を提供したり、日本赤十字社へ寄付金を贈るなどの慈善活動も行ううち、

帝人疑獄事件 1934＝ 63歳：

アフリカへの再渡航を考えるが、病弱な妻のことを思い、断念。以後、静かに暮らして、

日中戦争始 1937＝ 66歳：

日米開戦・・・1941＝ 70歳：

・・・1942＝ 71歳：ディエゴ・スアレズ湾で帝国海軍の潜航艇がイギリス戦艦の奇襲に成功したとのニュースに複雑な思い、創価学会検挙 1943＝ 72歳：

敗戦・・・1945＝ 74歳：敗戦後には、その潜航艇がその後座礁、上陸した日本兵が投降に応じず射殺されたと知り、胸を痛めて、新憲法公布 1946＝ 75歳：_没した。

残された豪邸は{白磯旅館}となって現在に至っている。